

岡山県立倉敷天城高等学校

# 理数科ニュース

第2号

7月19日発行

発行：理数科

## ～科学論文講習会～

期 日 令和4年7月13日（水）13：50～15：30（6・7限）

会 場 岡山県立倉敷天城高等学校 第1化学教室

講 師 岡山大学教育学部 稲田佳彦 先生

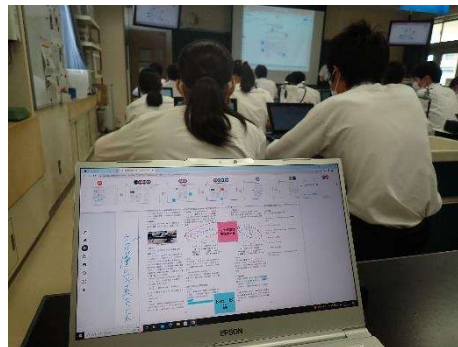
内 容 「科学論文の構成と書き方について」

理数科2年次生を対象に、科学論文講習会を開催しました。これから課題研究のまとめや論文を作成する生徒にとって、とても有意義な時間となりました。

論文は、多くの人が共有し、客観性を得ることが大切です。そのためには、①実証性が担保できるような情報 ②適切な証拠、論拠、結論 ③読者に伝わるような構成 が必要になります。他者に理解してもらい、納得してもらおうという姿勢が重要です。

内容が想像できるタイトルになっているか。主張したい結論が明示されているアブストラクトになっているか。結論が一目で伝わる図やグラフになっているか。興味を引く、面白いイントロダクションになっているか。などを観点として他の人の論文を評価しました。

「Jamboard」を利用して、みんなで論文の問題点を指摘し合いました。これから、課題研究をまとめる2年次生にとって、この“論文を書く前の心構え”はとても大切なことです。



Chromebook を利用して、みんなの意見や考えを確認しながら行われました。